

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和4年10月13日(2022.10.13)

【国際公開番号】WO2020/086434
 【公表番号】特表2022-505427(P2022-505427A)
 【公表日】令和4年1月14日(2022.1.14)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-006
 【出願番号】特願2021-521460(P2021-521460)
 【国際特許分類】

10

G 0 6 T 1 5 / 0 0 (2 0 1 1 . 0 1)

【F I】

G 0 6 T 1 5 / 0 0 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月4日(2022.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対話型仮想環境において時系列データを視覚化する方法であって、
 データポイントの複数の時系列シーケンスを含む1つまたは複数のデータセットを受信することと、

前記データポイントの複数の時系列シーケンスの各々を仮想環境において3次元(3D)線グラフにプロットすることと、

前記仮想環境において前記3D線グラフの周囲を移動するように構成された1つまたは複数の仮想カメラを用いて、前記3D線グラフの1つまたは複数のビューを生成することと、

30

前記3D線グラフの前記1つまたは複数のビューを1つまたは複数のクライアントデバイスに送信することを含み、前記1つまたは複数のクライアントデバイスは前記1つまたは複数の仮想カメラに対応する、方法。

【請求項2】

前記データポイントの複数の時系列シーケンスの各々を仮想環境において3D線グラフにプロットすることは、

前記データポイントの複数の時系列シーケンスにおける各データポイントの位置を前記仮想環境の座標系においてプロットすることと、

前記位置の各々を3D線オブジェクトに接続することを含む、請求項1に記載の方法

40

【請求項3】

前記3D線グラフの座標系を前記仮想環境の前記座標系に変換することをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記3D線グラフの前記座標系は、

時間に対応する第1の横軸と、

前記データポイントの複数の時系列シーケンスにおけるインデックスに対応する第2の横軸と、

前記データポイントの値に対応する縦軸とを含む、請求項3に記載の方法。

50

【請求項 5】

前記 1 つまたは複数のデータセットは、異なるシステムについての経時的なテスト障害データを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

さらに、

パラメータ化された入力を有する視覚化コンポーネントをロードすることと、

前記 1 つまたは複数のデータセットを前記パラメータ化された入力にバインディングすることと、

前記データポイントの複数の時系列シーケンスの各々を、前記仮想環境において、前記視覚化コンポーネントに従って、前記 3 D 線グラフにプロットすることを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の方法。

10

【請求項 7】

前記 1 つまたは複数のクライアントデバイス内のあるクライアントデバイスは、仮想現実デバイスを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の方法を 1 つまたは複数のプロセッサに実行させるためのプログラム。

【請求項 9】

1 つまたは複数のプロセッサと、

請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の方法を前記 1 つまたは複数のプロセッサに実行させるためのプログラムを格納したメモリとを備える、システム。

20

30

40

50